

令和4年度

奈良教育大学大学院教育学研究科

修士課程

※現職教員等及び教職経験を有する者
に対する選抜特例があります。

[9 月 募 集]

[2 月 募 集]

修士課程(外国人留学生特別選抜)

学生募集要項

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、本要項に記載している選抜方法等を変更する場合があります。変更する場合は、可能な限り速やかに本学ホームページで公表します。

なお、出願等に当たっては、必ず本学ホームページにて最新情報を確認するようにしてください。

奈良教育大学ホームページ : <https://www.nara-edu.ac.jp/>

募集区分	出願期間	試験期日	合格発表
9月募集	令和3年7月30日(金)～ 令和3年8月5日(木)	令和3年9月4日(土)	令和3年9月24日(金)
2月募集 外国人留学生	令和3年11月26日(金)～ 令和3年12月2日(木)	令和4年2月12日(土)	令和4年2月17日(木)

奈良教育大学

目 次

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	1
教育課程編成実施方針(カリキュラム・ポリシー)	1
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)	1

I. 修士課程

1. 専攻、入学定員及び募集人員	2
2. 標準修業年限	2
3. 出願資格	2
4. 出願手続	4
5. 受験票の送付	7
6. 選抜方法	7
7. その他の留意事項	11
8. 合格者の発表	12
9. 入学手続	12
10. 入学料及び授業料	12
11. 現職教員等に対する教育方法の特例措置(昼夜開講の拡充)について	12
12. 学部授業科目の履修制度について	13
13. 長期履修学生制度について	14
14. 修了要件、履修方法等について	15
15. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表	16

II. 修士課程(外国人留学生特別選抜)

1. 専攻、入学定員及び募集人員	19
2. 標準修業年限	19
3. 出願資格	19
4. 出願手続	21
5. 受験票の送付	22
6. 選抜方法	23
7. その他の留意事項	25
8. 合格者の発表	26
9. 入学手続	26
10. 入学料及び授業料	26
11. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表	26

III. 修士課程・修士課程(外国人留学生特別選抜)共通事項

1. 個人情報の利用について	27
2. 障害等を有する志願者との事前相談について	27
3. 過去の入試問題の閲覧について	28
4. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について	28

【重要】令和4年度入試の主な変更点等は以下のとおりです。

令和4年4月に「新たな大学院教育学研究科「専門職学位課程(教職大学院)」及び「修士課程」(以下「新組織」という。)」の設置を計画しています。

現在、設置計画申請中(計画が変更となる場合があります。)で、設置が認められた場合は、令和4年度入学者は新組織に所属することとなりますが、令和4年度入試は、本募集要項に基づき、令和3年度入試と同様の選抜方法等で実施します。

なお、出願に当たっては、新組織の設置が認められた場合、入学時に当該新組織に所属することについての同意書及び入学後に希望する履修上のコース・専修に係る調書の提出が必要となります。

現行の組織から新組織への移行、新たな教育課程の概要等の詳細については、別添資料を必ず確認してください。

ただし、新組織の設置が認可されなかった場合は、現行組織において志願者が志望した専攻、専修の学生として受け入れることとなります。

教育学研究科の特徴

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学的研究を深めることによって、豊かな人間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

修士課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次の目的を持つ人を求めます。

●教育学部・他学部出身者、現職教員、及び外国人留学生

学校教育・人間発達又は教科教育に関する諸科学に関心を持ち、理論や専門的知識、実践的教育方法について学習・研究を行いたいという目的を持つ人

入学者選抜の基本方針

教育学研究科は、本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、筆記試験、口述試験、実技試験等の評価を総合して入学者を選抜します。

【教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

修士課程においては、以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

1. 実践的科目では、現代の教育及び社会の諸課題に対する理解を深めるとともに、これらの課題を科学的に把握し、主体的に対応する実践的・指導的力量を育みます。
2. 専修専門科目では、学校教育・人間発達又は教科教育に関する諸科学の内容についての理解を深めるとともに、これらの内容を理論的・実践的に創造していく力量を育みます。
3. 課題研究及び修士論文作成では、実践的科目及び専修専門科目で学んだことを統合し、自らの課題意識に即して研究を進め、教育実践に活用する力量を育みます。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

修士課程においては、専門領域に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

1. 幼児児童生徒の探究心を培うために、学びの原動力たる探究の魅力を伝えることのできる教育に関わる理論的・実践的力量
2. 学校教育・人間発達又は教科教育に関する諸科学について、専門性を深めることができる研究的力量
3. 広い視野に立ち、自己の知識を絶えず振り返り、更新しながら現代の教育及び社会の諸課題に対応できる社会的力量

I. 修士課程

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	専修	入学定員	募集人員	
			9月募集	2月募集
人間発達	教育・心理	9名	9名	
	発達教育臨床(※ 夜間主)			
教科教育	国語教育・日本語日本文化教育	36名	36名	
	社会科教育			
	数学教育			
	理科教育(文化財科学を含む)			
	音楽教育			
	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育			
	保健体育			
	英語教育(異文化理解を含む)			
生活科学教育				
合計		45名	45名	

9月募集及び2月募集で上記の人員を募集します。

※ 発達教育臨床専修の専門科目は、18時～21時10分の夜間授業時間帯及び夏季や冬季休業期間などに開講し、修了に必要なその他の科目は、昼間及び夜間ともに開講します。

2. 標準修業年限 2年

ただし、長期履修学生制度が適用された場合の修業年限は、4年以内の許可された年数
詳細は、14頁を参照（※「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、新組織の専門職学位課程（教職大学院）への入学を希望する者は、別紙「読み替え表（令和4年度奈良教育大学大学院教育学研究科 修士課程 学生募集要項）」を必ず確認してください。）

3. 出願資格

次の(1)から(9)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和4年3月までに大学卒業見込の者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に

指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

(9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年4月1日現在22歳に達している者

[注]・上記(8)に該当する者は、次に掲げる者等です。

「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」

・上記(9)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければなりません。

<上記(9)における個別の入学資格審査の申請方法等>

上記出願資格(9)により出願を希望する者は、出願に先立ち、入学資格審査を行いますので、次の書類を各申請期間中に入試課に提出してください。

入学資格審査申請書等の様式は、郵送にて配付します。配付を希望する者は、表に「大学院入学資格審査申請書(修士課程)請求」又は「大学院入学資格審査申請書(外国人留学生)請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(84円分の切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

(1) 入学資格審査申請書類

- ① 入学資格審査申請書(本学所定の用紙)
- ② 学修歴、研究歴等申告書(本学所定の用紙)
- ③ 連絡票(入学資格審査用)(本学所定の用紙)
- ④ 入学を志望する動機(用紙はA4判とし、400字程度)
- ⑤ 研究計画書(大学院において研究したい分野と内容について記入してください。用紙はA4判とし、400字程度にまとめてください。)
- ⑥ 最終学校の卒業証明書
- ⑦ 最終学校の成績証明書
- ⑧ 在職(籍)証明書(在職(籍)期間、職務内容、勤務様態等が確認できる書類) ※
- ⑨ 返信用封筒(694円分の切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)

※現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職(籍)中の者は提出してください。

(2) 入学資格審査申請期間

[9月募集] 令和3年 7月 2日(金)から令和3年 7月 7日(水)まで

[2月募集] 令和3年10月 1日(金)から令和3年10月 6日(水)まで

郵送による場合は、封筒表面に「入学資格審査書類在中」と朱書きし、「簡易書留便」により、申請期間必着で送付してください。

(3) 審査方法

提出された書類の内容、口述試験、及び研究科が必要とする場合は筆記試験(実技等を含む。)の成績を総合して判定します。なお、審査の日時及び集合場所は本人に別途通知します。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、以下の期日までに郵送により本人に通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学大学院入学資格認定書」を同封します。

資格を認められた者は、出願時に「奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)」を提出してください。

[9月募集] 令和3年 7月26日(月)

[2月募集] 令和3年11月25日(木)

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 <u>353円分の郵便切手</u> を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
③	検 定 料 (30,000円)	全 員	郵便局・ゆうちょ銀行窓口で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、志願者の負担とします。 (注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので必ず窓口で納付してください。
④	卒業(見込)証明書又は修了(見込)証明書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。(※備考欄を参照のこと)
⑤	成 績 証 明 書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。(※備考欄を参照のこと)
⑥	宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑦	入学に関する同意書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。

⑧	入学後の履修コース・ 専修に関する希望調書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
⑨	学位授与証明書	出願資格(2)の学士の 学位を授与された者	大学改革支援・学位授与機構が作成したものを提出してください。(大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑩	学士の学位授与 申請受理証明書	出願資格(2)の大学改 革支援・学位授与機 構に学位申請中の者	大学改革支援・学位授与機構が作成したものを提出してください。(大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑪	教育職員免許状 授与証明書	出願資格(8)に該当す る者	該当する免許状を授与された都道府県教育委員会発行の証明書を提出してください。(大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑫	奈良教育大学大学院 入学資格 認定書(写)	出願資格(9)に該当す る者	本学が行う入学資格審査により入学資格を認められた者は提出してください。(大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑬	受験承諾書	大学院在学者	所定の用紙により、在学している大学院の学長又は研究科長の承諾書を提出してください。
		在 職 者	現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職中で、 <u>在職のまま入学しようとする者は</u> 、所定の用紙により、所属長等の承諾書を提出してください。
⑭	代替措置に係る 通知文書(写)	右 記 該 当 者	教職経験を有する者に対する選抜特例を受ける者で、 <u>研究業績等の審査により学力検査科目の代替措置が認められた者は</u> 、本学から郵送される通知文書(写)を提出してください。 ※8頁の<選抜方法の特例>の「教職経験を有する者に対する選抜特例」を参照してください。
⑮	在職期間証明書	現職教員等に対する選抜特例・教職経験を有する者に対する選抜特例を受ける者(研究業績等の審査により学力検査科目の代替措置が認められた者を除く。)	所属長等が在職期間及び雇用形態を証明したもので、3年以上勤務したことが確認できるもの(様式任意)を提出してください。 ※8頁の<選抜方法の特例>を参照してください。
⑯	自 作 曲	学力検査科目(専門科目)の中で「作曲」を選択した者	任意の自作曲の譜面を提出してください。
⑰	住民票の写し等	日本国に居住している 外国人 (永住許可者は対象外)	市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。

(注) 婚姻等により改姓し、証明書類等の氏名と異なっている場合は、それを証明する書類(戸籍抄本等)を添付してください。

(備考)

- ① 卒業(修了)証明書又は見込証明書及び成績証明書は出身学校の発行する原本を提出してください。ただし、和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校又は総領事館(中華人民共和国の場合はCHSI)が証明した翻訳文(和文又は英文に限る。)を添付してください(日本語学校による証明は認められません。)
- ② 証明書類等は、原本(オリジナル)を提出してください。原本以外の場合は、必ず自国大使館等の公証書類を提出してください。
- ③ 海外及び公的機関からの証明の遅延を理由とした出願締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって出願書類の準備をしてください。

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、下記の出願期間中に提出してください。郵送による場合は、本要項に添付した出願用封筒を用い『簡易書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

[9月募集]

令和3年7月30日(金)から令和3年8月5日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く。)

(郵送の場合は、8月5日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

[2月募集]

令和3年11月26日(金)から令和3年12月2日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く。)

(郵送の場合は、12月2日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願にあたっては、入学後の研究内容について、指導を希望する教員に必ず事前に相談してください。【参照】教員一覧URL (<https://www.nara-edu.ac.jp/guide/list/>)
(「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合)別紙「専門職学位課程担当教員研究分野一覧表」及び「修士課程担当教員研究分野一覧表」
- ② 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ④ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

(1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が以下の日時までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

[9月募集] 令和3年8月26日(木)

[2月募集] 令和4年1月27日(木)

(2) 受験及び入学手続に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・実技試験・口述試験)、成績証明書、研究計画書の内容を総合して行います。一般選抜の学力検査科目は、**外国語(100点満点)**、**共通専門科目(100点満点)**、**専門科目(実技を含む、200点満点)**、**口述試験(A・B・C評価)**とします。なお、現職教員等及び教職経験を有する者については、8頁のとおり選抜方法の特例を設けていますので、希望者は、入学願書の該当欄に必要事項を記入の上、出願してください。

〈選抜方法の特例〉

現職教員等に対する選抜特例

学力検査科目は、外国語、共通専門科目を免除し、専門科目(実技を含む。)及び口述試験とします。

この選抜特例を適用される者は、現職教員等に該当する者で、**3年以上**(休職期間(育児休業、国際派遣を含む。))を除く。)(令和4年4月1日現在)専任で勤務し在職のまま入学する者です。

※現職教員等とは、下記のいずれかに該当する者で、令和4年4月1日現在専任で勤務し在職のまま入学する者をいいます。

- ア) 学校教育法第1条に規定する学校の教員(*1)
 - イ) 教育公務員特例法第2条に規定する教育公務員(*2)
 - ウ) 学校教育法第124条に規定する専修学校の教員(*3)
 - エ) 学校教育に類する教育を行うもののうち、他の法律に特別の規定がある機関で教育又は研究の職に従事している者
 - オ) 教育相談機関において、教育相談又はカウンセリングの職に従事している者
 - カ) 社会教育施設等の教育機関で教育又は研究の職に従事している者
 - キ) 障害児(者)の社会福祉施設・機関において、教育、指導、療育又はセラピーの職に従事している者
- *1 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校の教員
- *2 地方公務員のうち、公立学校(学校教育法第1条に規定する学校及び就学前の子どものに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園であって地方公共団体が設置するもの)の学長、校長(園長を含む。)、教員及び部局長並びに教育委員会の教育長及び専門的教育職員
- *3 学校教育法第1条に掲げるもの以外の教育施設で、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行う専修学校の教員

教職経験を有する者に対する選抜特例

学力検査科目は、外国語を免除し、共通専門科目、専門科目(実技を含む。)及び口述試験とします。

この選抜特例を適用される者は、**3年以上**(休職期間(育児休業、国際派遣を含む。))を除く。)(令和4年4月1日現在)の教職経験を有している者です。

なお、学力検査科目の専門科目(実技を含む。))については、在職中に発表した研究業績等の審査をもって代替することができますので、この措置を希望する者は、次の書類を出願書類の提出先に提出してください。代替の可否は、出願期間までに郵送により通知します。代替を認められた者は、出願時に通知文書(写)を提出してください。

〔提出期間〕

〔9月募集〕令和3年 7月 5日(月)から令和3年 7月 9日(金)まで(必着)

〔2月募集〕令和3年11月 2日(火)から令和3年11月 5日(金)まで(必着)

※郵送による場合は、封筒表面に「大学院教育学研究科修士課程代替措置書類在中」と朱書きし、「簡易書留便」により、必着で送付してください。

〔提出書類〕

1. 研究業績書(本学所定の用紙)及び次に掲げる研究業績等のいずれか一つ(返却はできません。)
 - ア. 研究論文・報告等の主要なもの3点以内(志望する専攻・専修領域にかかわる内容のもので、何らかの形で公表し、印刷されたもの)
 - イ. 作品の主要なもの3点以内(原本又は写)
 - ウ. 演奏の主要なもの3点以内(概要と資料(プログラム等))(注1)書道実技を代替科目とする者で、上記イを提出する場合は、写真ではなく、漢字作品と仮名作品を含めた3点の作品の原本(表装の有無は問わない。)に限ります。
(注2)声楽実技又は器楽実技を代替科目とする者は、口述試験のなかで任意の楽曲1曲の演奏を必要とします。
2. 入学願書の写し(所要事項を全て記入したもの)
3. 在職期間証明書(所属機関の長が在職期間及び雇用形態を証明したもので、3年以上勤務したことが確認できるもの(様式任意))
4. 返信用封筒(404円分の切手を貼付し、受験者の郵便番号、住所、氏名等を明記した長形3号定形郵便封筒)

(1) 学力検査日

[9月募集] 令和3年9月 4日(土)

[2月募集] 令和4年2月12日(土)

(2) 学力検査場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 学力検査時間割

当日は、試験についての留意事項を説明しますので、必ず各試験の10分前までに集合してください。
集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

専攻	試験区分 専修	筆記試験・実技試験			口述試験 (A・B・C評価)
		外国語 (100点満点)	共通専門科目 (100点満点)	専門科目(実技を 含む、200点満点)	
人間 発達	教育・心理	9:00~10:30	10:50~11:50	13:00~14:30	15:00~
	発達教育臨床(夜間主)				
教科 教育	国語教育・ 日本語日本文化教育				
	社会科教育				
	数学教育				
	理科教育 (文化財科学を含む)				
	保健体育				
	英語教育 (異文化理解を含む)				
	生活科学教育				
	造形表現(美術・書道)・ 伝統文化教育				
音楽教育	<書道> 専門科目終了後~				
		13:00~ 筆記・実技試験終了後口述試験			

(4) 学力検査科目表

専攻	試験区分 専修	筆記試験・実技試験			口述 試験
		外国語	共通専門科目	専門科目(実技を含む。)	
人間 発達	教育・心理	英語	教育学Ⅰ、心理学Ⅰから 1科目選択	教育学Ⅱ、心理学Ⅱから1科目選択	全 員 が 受 験 す る こ と
	発達教育臨床 (夜間主)	英語	発達教育臨床(幼年教 育、特別支援教育、教 育臨床)に関する小論文	発達教育臨床(幼年教育、特別支援教 育、教育臨床)に関する基礎的事項	
教科 教育	国語教育・日本語 日本文化教育	英語	国語科教育Ⅰ	国語科教育Ⅱ、国語学、国文学、 日本語日本文化教育から1科目選択	
	社会科教育	英語	社会科教育Ⅰ	社会科教育Ⅱ、日本史学、西洋史学、 地理学、社会学、哲学・倫理学、法 学から1科目選択	
	数学教育	英語	数学科教育Ⅰ	数学科教育Ⅱ、代数学、解析学、 応用数学から1科目選択	
	理科教育 (文化財科学を含む)	英語	理科教育Ⅰ	理科教育Ⅱ、物理、化学、生物、 地学、文化財科学から1科目選択	
	音楽教育	英語	音楽科教育Ⅰ	音楽科教育Ⅱ、声楽実技、器楽実技、 作曲から1科目選択	
	造形表現(美術・書 道)・伝統文化教育	英語	美術科教育Ⅰ	美術科教育Ⅱ、絵画実技、工芸実技、 美術史、絵画記録保存実技、書道実技 から1科目選択	
	保健体育	英語	保健体育科教育Ⅰ	保健体育科教育Ⅱ、体育社会学、体育 原理、運動学、学校保健、運動生理学 から1科目選択	
	英語教育 (異文化理解を含む)	英語	英語科教育Ⅰ	英語科教育Ⅱ、英語学、英米文学から 1科目選択	
生活科学教育	英語	家庭科教育Ⅰ	家庭科教育Ⅱ、食物学、保育学、家庭 経営学から1科目選択		

〔学力検査科目表の注意事項〕

1. 「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、新組織の修士課程への入学を希望する者は、上記表中の受験科目が変更となる可能性がありますので、別紙「令和4年4月から「新たな大学院教育学研究科」の設置(大学院改組)が認められた場合の入学先等について」を必ず確認してください。
2. 外国語については、辞書(書物に限る。電子辞書は不可。)の持ち込みを認めます。
3. 共通専門科目は基礎的教養に関する試験、専門科目(実技を含む。)は専門的教養に関する試験です。
4. 専門科目(実技を含む。)は、自己の研究題目に合致し、入学後に研究指導を希望する教員が専門とする科目を選択し受験してください(16頁～18頁参照)。
5. 教科教育専攻理科教育(文化財科学を含む)専修を志望する者で、専門科目の化学を選択し受験する

者には、当日、関数電卓を問題用紙配付時に配付し、答案用紙回収時に回収します。

6. 教科教育専攻音楽教育専修を志望する者は、下記事項に留意してください。

① 専門科目で音楽科教育Ⅱを受験する者は、音楽科教育Ⅱの筆記試験に加え、口述試験のなかで任意の器楽曲又は声楽曲1曲の演奏を必要とします。

② 専門科目の声楽実技、器楽実技、作曲の内容は以下のとおりです。

ア. 声楽実技 任意の日本及び外国の声楽曲各1曲を歌う。

イ. 器楽実技 任意のピアノ曲を1曲演奏する。

ウ. 作 曲 任意の自作品の譜面を出願時に提出する。(自作品の録音があれば、出願時に提出することが望ましい。)当日、自作品についての口述試験を行う。

③ 声楽曲を演奏する者は、伴奏者を同伴してください。

④ 演奏はすべて暗譜で行うこととします。

7. 教科教育専攻造形表現(美術・書道)・伝統文化教育専修を志望する者で、専門科目において実技試験を選択する者は、下記事項に留意してください。

① 実技試験を受験する際には、次のものを持参してください。

絵画実技……………鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式、パレット、筆、水入れ、雑巾

工芸実技……………鉛筆デッサン用筆記用具

絵画記録保存実技……鉛筆デッサン用筆記用具

書道実技……………太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆及び大筆(半切1首書き程度)、墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙及び半切、下敷(半切用)

② 口述試験を受験する際には、次のものを持参のうえ、口述試験の際に提出してください。

・絵画実技、工芸実技、絵画記録保存実技(模写を含む。)を選択する場合

選択する専門科目に関する作品のうちいずれかの作品(作品の写真可)2点以内

・書道実技を選択する場合

毛筆による自作の書道作品(作品の写真不可)2点

なお、作品は3年以内に作成したものとし、サイズは自由とします。

7. その他の留意事項

(1) 出願手続後は、志望専攻・専修及び受験科目の変更は認めません。

(2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。

(3) 試験当日は、「奈良教育大学大学院教育学研究科(修士課程)受験票」を必ず持参してください。

万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。

(4) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。

(5) 筆記試験開始後30分を経過して遅刻した者は、それ以降の試験も含めて受験することができません。

また、口述試験については、開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。

(6) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。

(7) 連絡事項がある場合は、本学のホームページに掲載します。

(8) 本要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

[9月募集] 令和3年9月24日(金) 午前10時

[2月募集] 令和4年2月17日(木) 午前10時

合格発表日に本学のホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送しますホームページ上の合格速報は情報提供サービスの一環として掲載するものであり、**正式には合格通知書で確認してください。**また、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日

[9月募集] 令和3年10月 7日(木) 郵送必着

[2月募集] 令和4年 3月15日(火) 郵送必着

10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円 (予定)

授業料 前期分 267,900円 (年額535,800円) (予定)

(注) ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料については、令和4年4月1日から令和4年4月30日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、令和3年度入学者の金額であり、令和4年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 授業料について、奈良県教育委員会からの大学院等派遣研修による現職教員は、別に定めるところによります。

11. 現職教員等に対する教育方法の特例措置(昼夜開講の拡充)について

※「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、新組織の専門職学位課程(教職大学院)への入学を希望する者は、別紙「読み替え表(令和4年度奈良教育大学大学院教育学研究科 修士課程 学生募集要項)」を必ず確認してください。

現職教員等(8頁参照)(大学院修学休業制度利用者は除く。)に対する研修機関としての役割を積極的に果たすことを目的として、本学教育学研究科(修士課程)では、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を次の2つの方式により開設し、大学院での学習の機会を拡充しています。

具体的な実施方式は以下のとおりです。

[1年次フルタイム・2年次定期通学方式]

- ① 修業年限2年のうち、第1年次は昼間(9:00~17:50)での授業及び研究指導をフルタイムで受け、課程修了に必要な30単位のうち24単位以上を修得
- ② 第2年次は、週1回以上定期的に通学し、授業及び研究指導を受け、合計6単位以上を修得
- ③ 第2年次は、夜間コースの授業も受講することができます。
- ④ 第2年次の特例措置について、奈良県教育委員会からの大学院等派遣研修による現職教員は、別に

定めるところによります。

〔1・2年次とも夜間等の授業を履修する方式(夜間コース)〕

- ① 修業年限の2年間とも夜間(18:00～21:10)での授業及び研究指導を受け、課程修了に必要な30単位以上を修得
- ② 授業及び研究指導は、夏季・冬季休業期間中及び土曜日、日曜日にも実施されることがあります。
- ③ 休業期間中の昼間に開講される集中講義を受講することができます。

※夜間コースの志願者のうち、実験、フィールドワークに関することを研究テーマに予定している者は、出願前に、研究テーマ・指導教員等について、あらかじめ照会してください。

現職教員等でこの教育方法の特例措置を希望する者は、本要項中の次の項目を参照のうえいずれかの方式を選択し、出願してください。

- (1) 出願手続〔4頁〕
- (2) 選抜方法〔7頁〕

なお、本特例措置については、入学当初に、研究指導教員の承認を得た「許可願」を提出し、許可を受けた場合に適用されます。

12. 学部授業科目の履修制度について

※「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、新組織の専門職学位課程(教職大学院)への入学を希望する者は、別紙「読み替え表(令和4年度奈良教育大学大学院教育学研究科 修士課程 学生募集要項)」を必ず確認してください。

修士課程においては、大学院に在学しつつ、学部の授業科目を履修できる制度(科目等履修生制度)があります。この制度により教員免許状(一種)に係る科目も履修することができますが、免許状取得を保証するものではありません。

〈履修の制限等〉

- ・1学期間4科目8単位以内、修業年限の2年間で最大32単位まで履修できます。なお、修業年限を越えて大学院に在学する場合は、48単位を履修上限としています。
- ・教育実習の履修については、教員免許状取得に必要な全ての単位を、大学院入学前に取得した単位と、大学院入学後の科目等履修により取得する単位で充足できる者で、本人が教育実習校の内諾を得られる場合に限り、教育実習の履修が認められる制度を設けています。申請が許可された場合は、大学院修了予定年度に、1回に限り教育実習を行うことができます。

なお、教育実習を行うまでには、取得予定の免許状の単位修得要件における次の科目単位数を修得していること及び事前・事後指導の履修を必須としています。詳細は、出願までに照会してください。

- ・小学校教諭免許状
教科及び教科の指導法に関する科目を15単位以上(ただし、各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。))のうち5教科以上修得していること)
- ・中学校教諭免許状
免許教科ごとに定める教科及び教科の指導法に関する科目を14単位以上(ただし、各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。))を4単位以上含むこと)
- ・高等学校教諭免許状

免許教科ごとに定める教科及び教科の指導法に関する科目を12単位以上(ただし、各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。))を2単位以上含むこと)

- ・幼稚園教諭免許状

領域及び保育内容の指導法に関する科目を8単位以上(ただし、保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。))のうち3領域以上修得していること)

- ・特別支援学校教諭免許状

特別支援教育に関する科目を13単位以上

〈授業料等〉

- ・科目等履修生の検定料及び入学料については、徴収しません。ただし、改定があった場合は、徴収します。
- ・授業料は1学期間4単位(年間8単位)以内の履修(教育実習及び事前・事後指導は除く。)については徴収ませんが、4単位を越える場合と教育実習及び事前・事後指導については、1単位につき、14,800円(予定)を徴収します。

〈その他注意事項〉

- ・大学院正規課程での授業・研究が主となりますので、入学後研究指導教員と相談のうえ履修計画をたて、承認を得ることになります。また、本制度は免許状の取得を保証するものではなく、大学院の授業と学部の授業の時間割の重複や、学部の授業の履修には当該授業担当者の承諾が必要であることにより、希望の教員免許状を取得できないこともあります。取得免許種によっては、介護等体験の参加も可能です。

※本制度による履修について不明な点がある場合は必ず出願までに問い合わせてください。

【問い合わせ先】 教務課 大学院担当 TEL 0742-27-9322

13. 長期履修学生制度について

※「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、新組織の専門職学位課程(教職大学院)への入学を希望する者は、別紙「読み替え表(令和4年度奈良教育大学大学院教育学研究科 修士課程 学生募集要項)」を必ず確認してください。

この制度は、修士課程の入学者のうち、下記申請資格を有する者で、通常の標準修業年限での履修が困難な場合に、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるもので、その間の授業料の年額の負担を軽減することができるものです。

〈申請資格〉

申請できる者は現職教員等(現職教員等については本要項8頁の〈選抜方法の特例〉現職教員等に対する選抜特例参照)

〈修業年限〉

修業年限は3年又は4年とします。

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「長期履修学生制度の申請予定」欄に申請予定の有無を記載のうえ、入学後ただちに、担当教員と3年又は4年の履修計画を立案したうえ、申請書を提出することになります。

〈授業料〉

申請が認められた場合は、3年又は4年の修業年限となりますが、授業料は2年間分を納付することになります。

(参考例) 修業年限が3年で長期履修を許可された者の授業料の年額

535,800円×2年÷3年=357,200円(年額)

※2年間分の授業料を3年間で分割納入することになります。

14. 修了要件、履修方法等について

※「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、新組織の専門職学位課程（教職大学院）への入学を希望する者は、別紙「読み替え表（令和4年度奈良教育大学大学院教育学研究科 修士課程 学生募集要項）」を必ず確認してください。

〈修士課程の修了要件の概要〉

修士課程においては、履修規則に基づき30単位以上を修得した上、修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要となります。

15. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表

10頁の〔学力検査科目表の注意事項〕をよく読んで専門科目を受験(選択)してください。

職名・氏名欄に◎のある教員は令和4年3月、○のある教員は令和5年3月退職予定です。

下表に変更が生じた場合は、本学のホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/>) で発表しますので、各出願前に確認してください。

専攻	専修	受験専門科目名	職名・氏名	研究テーマ・研究分野	
人間 発 達	教育・心理	教育学Ⅱ	教 授 片岡 弘勝	地域生涯学習論研究、地域教育および社会教育の原理的歴史的研究	
			教 授 赤沢 早人	授業研究、カリキュラム・マネジメント	
			教 授 板橋 孝幸	日本教育史、近・現代における地域教育運動の研究	
			准教授 橋崎 頼子	市民性教育のカリキュラム構成原理に関する研究	
			准教授 粕谷 圭佑	教育社会学、子どもの社会化・教育場面の相互行為に関する研究	
		心理学Ⅱ	教 授 出口 拓彦	教育社会心理学(適応や規範意識、学級集団等に関する研究)	
			准教授 中山留美子	発達心理学(人格・自己の発達)	
			准教授 石井 僚	教育臨床心理学(学習場面を中心とした適応に関する研究)	
	発達教育臨床 (夜間主)	発達教育臨床(幼 年教育、特別支援 教育、教育臨床)に 関する基礎的事項	教 授 越野 和之	障害児者の人格発達と社会的環境・教育	
			教 授 横山真貴子	乳幼児の萌芽的読み書き活動の研究	
			教 授 廣瀬 聡弥	子どもの遊び、保護者の育ちについての研究	
			教 授 市来百合子	臨床心理学、学校教育臨床、芸術療法	
			准教授 大西 賢治	子どもの心やさしさや、利他性、道徳性についての研究	
	教 科 教 育	国語教育・ 日本語日本 文化教育	国語科教育Ⅱ	教 授 棚橋 尚子	国語科教育学
			国語学	教 授 前田 広幸	日本語音声・音韻の研究
国文学			准教授 有馬 義貴	平安時代の文学、古典教育	
			教 授 日高 佳紀	日本近代文学・メディアと読者・文学理論	
			教 授 橋本 昭典	中国思想、日本漢文学	
日本語日本文化教育			准教授 和泉元千春	日本語教育学	
社会科教育		社会科教育Ⅱ	准教授 太田 満	社会科教育、国際理解教育	
		日本史学	教 授 今 正秀	日本古代・中世史(平安時代を中心に)	
		西洋史学	教 授 西田 慎	ドイツ現代史(特に戦後史)、ドイツ政治史	
		地理学	教 授 根田 克彦	イギリスと日本の都市小売業の立地	
			准教授 河本 大地	地域多様性、農山村地域研究、観光・地域振興、E S D	
		社会学	教 授 渡邊 伸一	社会問題の社会学的研究	
		哲学・倫理学	准教授 梶尾 悠史	西洋哲学、フッサールの現象学	
		法学	准教授 奥田 喜道	憲法学(スイス憲法を中心とした比較憲法)	
数学教育		数学科教育Ⅱ	教 授 近藤 裕	数学教育学	
	准教授 舟橋 友香		数学教育学		
	代数学	教 授 川崎謙一郎	可換代数学		
	応用数学	教 授 伊藤 直治	数理科学・工学		
	解析学	准教授 高橋 亮	偏微分方程式論		

専攻	専修	受験専門科目名	職名・氏名	研究テーマ・研究分野
教科教育	理科教育 (文化財科学を含む)	理科教育Ⅱ	○教授 森本 弘一	科学的素養を高める理科教材の開発
			教授 石井 俊行	子どもたちの科学概念の構築を阻害する要因の究明
		物理	○教授 松山 豊樹	素粒子論、場の量子論及び巨視的量子効果の研究
			教授 常田 琢	固体物理学、ナノ科学・工学
			教授 中村 元彦	分光法による固体物性の研究
		化学	教授 山崎 祥子	新しい有機合成法の開発
			教授 梶原 篤	磁気共鳴、高分子化学、化学教育
		生物	教授 石田 正樹	原生動物を用いた細胞生物学
			教授 辻野 亮	森林の生態学、人と自然のかかわり
			准教授 小長谷達郎	昆虫を対象とした生理生態学・進化生態学
		地学	教授 和田 穰隆	野外地質調査と室内試料解析による火山活動の研究
			教授 藤井 智康	湖沼・沿岸海洋の環境動態に関する研究
	准教授 信川 正順		天文学・宇宙物理学	
	文化財科学	◎教授 金原 正明	環境考古学	
	音楽教育	音楽科教育Ⅱ	教授 劉 麟玉	音楽教育史・音楽科教育・民族音楽学
		器楽実技	◎教授 前田 則子	ピアノ演奏法、歌曲伴奏、室内楽、ピアノ教育、ソルフェージュ教育
		作曲	准教授 北條美香代	作曲法、編曲法、創作授業研究
		声楽実技	准教授 水野 亜歴	声楽作品研究
	造形表現(美術・書道)・ 伝統文化教育	美術科教育Ⅱ	教授 宇田 秀士	美術教育の題材・授業構造、近代日本美術教育史
			教授 竹内 晋平	図画工作・美術科授業研究、生涯学習と美術に関する研究
		絵画実技	准教授 狩野 宏明	絵画制作にかかわる理論、絵画史の研究
		工芸実技	准教授 原山 健一	工芸技法研究、陶による造形表現
		美術史	教授 山岸 公基	日本・東洋仏教美術史の研究
		絵画記録保存実技	○教授 大山 明彦	文化財の記録保存のための模写と復元
		書道実技	◎教授 谷川 雅夫	書道史・書道理論・書道教育
			○教授 豊田 宗児	漢字書法
	保健体育	保健体育科教育Ⅱ	准教授 宮尾 夏姫	体育科教育学、スポーツ教育学、教師教育
			教授 高橋 豪仁	体育・スポーツの社会学的研究
			准教授 井上 邦子	スポーツ文化・体育(身体教育)の身体文化論的研究
			准教授 立 正伸	身体運動を対象とした運動学・トレーニング科学的研究
教授 笠次 良爾			学校保健ならびにスポーツ医学、特に傷病予防に関する研究	
准教授 高木 祐介			運動生理学及び応用栄養学に関する基礎的・実践的研究	

専攻	専修	受験専門科目名	職名・氏名	研究テーマ・研究分野
教科教育	英語教育 (異文化理解を含む)	英語科教育Ⅱ	教授 佐藤臨太郎	教室第二言語習得研究・英語教育学
		英語学	准教授 米倉 陽子	認知言語学・文法化・主体化
		英米文学	教授 門田 守	19世紀イギリス詩及び小説の研究
	生活科学教育	家庭科教育Ⅱ	准教授 村上 睦美	家庭科教育における指導方法に関する研究
		食物学	教授 杉山 薫	自閉スペクトラム症者の味覚特性
		保育学	准教授 中川 愛	対乳児行動に関する研究
		家庭経営学	教授 立松麻衣子	高齢者の生活、地域居住

II. 修士課程(外国人留学生特別選抜)

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	専修	入学定員	募集人員
人間発達	教育・心理	9名	若干名
	発達教育臨床(※ 夜間主)		
教科教育	国語教育・日本語日本文化教育	36名	若干名
	社会科教育		
	数学教育		
	理科教育(文化財科学を含む)		
	音楽教育		
	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育		
	保健体育		
	英語教育(異文化理解を含む)		
生活科学教育			
合計		45名	若干名

※ 発達教育臨床専修の専門科目は、18時～21時10分の夜間授業時間帯及び夏季や冬季休業期間などに開講し、修了に必要なその他の科目は、昼間及び夜間ともに開講します。

2. 標準修業年限 2年

3. 出願資格

次の(1)から(5)のいずれかに該当する外国籍を有する者(ただし、日本国に永住している者は対象としません。)

- (1)外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (2)外国において学校教育における12年の課程を修了し日本において大学を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者
- (3)外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (4)本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年4月1日現在22歳に達している者
- (5)その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

[注]・上記(4)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければなりません。

〈上記(4)における個別の入学資格審査の申請方法等〉

上記出願資格(4)により出願を希望する者は、出願に先立ち、入学資格審査を行いますので、次の書類を令和3年10月1日(金)から令和3年10月6日(水)に入試課に提出してください。

入学資格審査申請書等の様式は、郵送にて配付します。配付を希望する者は、表に「大学院入学資

格審査申請書（修士課程）請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒（84円分の切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒）を入れて、入試課まで送付してください。

(1) 入学資格審査申請書類

- ① 入学資格審査申請書(本学所定の用紙)
- ② 学修歴、研究歴等申告書(本学所定の用紙)
- ③ 連絡票(入学資格審査用)(本学所定の用紙)
- ④ 入学を志望する動機(用紙はA4判とし、400字程度にまとめてください。)
- ⑤ 研究計画書(大学院において研究したい分野と内容について日本語又は英語で記入してください。用紙はA4判とし、日本語の場合は400字程度にまとめてください。)
- ⑥ 最終学校の卒業証明書
- ⑦ 最終学校の成績証明書
- ⑧ 在職(籍)証明書(在職(籍)期間、職務内容、勤務様態等が確認できる書類)※
- ⑨ 返信用封筒(694円分の切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)

※現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職(籍)中の者は提出してください。

(2) 審査方法

提出された書類の内容、口述試験、及び研究科が必要とする場合は筆記試験(実技等を含む。)の成績を総合して判定します。なお、審査の日時及び集合場所は本人に別途通知します。

(3) 審査結果の通知

審査の結果は、令和3年11月25日(木)までに郵送により本人に通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学大学院入学資格認定書」を同封します。

資格を認められた者は、出願時に「奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)」を提出してください。

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。 <u>(氏名は住民票に記載されている氏名を記入してください。)</u>
②	受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 353円分の郵便切手 を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
③	検 定 料 (30,000円)	全 員	郵便局・ゆうちょ銀行窓口で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、志願者の負担とします。ただし、国費外国人留学生の場合は納付を必要としません。(注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので必ず窓口で納付してください。
④	卒業(見込)証明書又は修了(見込)証明書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。(備考欄(1)を必ず参照のこと)
⑤	成 績 証 明 書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。(備考欄(1)を必ず参照のこと)
⑥	発表論文等の概要	全 員	所定の用紙に日本語で記載してください。論文がない場合には、主な研究の概要を提出してください。(備考欄(2)を必ず参照のこと)
⑦	宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る場所の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑧	入学に関する同意書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
⑨	入学後の履修コース・専修に関する希望調書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
⑩	住 民 票 の 写 し 等	日本国に居住している者	市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。
⑪	奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)	出願資格(4)に該当する者	本学が行う入学資格審査により入学資格を認められた者は提出してください。
⑫	受 験 承 諾 書	大 学 院 在 学 者	所定の用紙により、在学している大学院の学長又は研究科長の承諾書を提出してください。
		在 職 者	現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職中で、 <u>在職のまま入学しようとする者は</u> 、所定の用紙により、所属長等の承諾書を提出してください。
⑬	自 作 曲	学力検査科目(専門科目)の中で「作曲」を選んだ者	任意の自作曲の譜面を提出してください。
⑭	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生	在籍している大学が証明したもので、国費外国人留学生としての期間が記載されているものを提出してください。

(備考)

- (1) ① 卒業(修了)証明書又は見込証明書及び成績証明書は出身学校の発行する原本を提出してください。ただし、和文又は英文以外のものについては、各証明書を発行した出身学校又は総領事館(中華人民共和国の場合はCHSI)が証明した翻訳文(和文又は英文に限る。)を添付してください(日本語学校による証明は認められません。)。上記以外の機関の証明を受けようとする場合は事前に本学までお問い合わせください。
 - ② 証明書類等は、原本(オリジナル)を提出してください。原本以外の場合は、必ず自国大使館等の公証書類を提出してください。
 - ③ 海外及び公的機関からの証明の遅延を理由とした出願締切の延長は一切認めませんので、余裕をもって出願書類の準備をしてください。
 - ④ 住民票に記載の氏名と卒業証明書等に記載の氏名の表記が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類(パスポートの写しなど)を添付してください。
- (2) 教科教育専攻音楽教育専修で、専門科目を声楽実技、器楽実技及び作曲を選択する者は、録音、論文、作品等の資料を提出してください。

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、出願期間内に出願してください。郵送による場合は、本要項に添付した出願用封筒を用い『簡易書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

令和3年11月26日(金)から令和3年12月2日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く。)

(郵送の場合は、12月2日(木)までの消印のあるものを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願にあたっては、入学後の研究内容について、指導を希望する教員に必ず事前に相談してください。【参照】教員一覧URL (<https://www.nara-edu.ac.jp/guide/list/>)

(「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合)別紙「修士課程担当教員研究分野一覧表」

- ② 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ④ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が令和4年1月27日(木)までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

(2) 受験及び入学手続に受験票が必要となるため、紛失、汚損のないよう大切に保管してください。

6. 選抜方法

- ・我が国と諸外国相互の教育・研究の水準を高めるとともに、国際理解・国際協調の精神を醸成するために、本学大学院教育学研究科は、学則第59条に基づき、一般の入学者選抜方法とは別の選抜方法により外国人留学生を対象とした特別選抜を実施します。
- ・入学者の選抜は、学力検査〔外国語(100点満点)・専門科目(実技を含む、200点満点)・口述試験(A・B・C評価)]の結果を総合して行います。

(1) 学力検査日

令和4年2月12日(土)

(2) 学力検査場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町たかばたけちょう(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 学力検査時間割

当日は、試験についての留意事項を説明しますので、必ず各試験の10分前までに集合してください。集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

専攻 専修	試験区分	筆記試験・実技試験		口述試験 (A・B・C評価)		
		外国語 (100点満点)	専門科目(実技を含む、200点満点)			
人間 発達	教育・心理	9:00~10:30	13:00~14:30	15:00~		
	発達教育臨床(夜間主)					
教科 教育	国語教育・日本語日本文化教育	9:00~10:30			13:00~14:30	15:00~
	社会科教育					
	数学教育					
	理科教育(文化財科学を含む)					
	生活科学教育					
	保健体育					
	英語教育(異文化理解を含む)					
	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育					
音楽教育	9:00~10:30	13:00~ 筆記・実技試験終了後口述試験	<書道> 専門科目試験終了後~			

(4) 学力検査科目表

専攻	試験区分 専修	筆記試験・実技試験		口述試験
		外国語	専門科目(実技を含む。)	
人間 発達	教育・心理	日本語 (日本語で解答)	教育学Ⅱ、心理学Ⅱから1科目選択	全員が受験すること
	発達教育臨床(夜間主)	日本語 (日本語で解答)	発達教育臨床(幼年教育、特別支援教育、教育臨床)に関する基礎的事項	
教科 教育	国語教育・ 日本語日本文化教育		国語科教育Ⅱ、国語学、国文学、日本語日本文化教育から1科目選択	
	社会科教育		社会科教育Ⅱ、日本史学、西洋史学、地理学、社会学、哲学・倫理学、法学から1科目選択	
	数学教育		数学科教育Ⅱ、代数学、解析学、応用数学から1科目選択	
	理科教育 (文化財科学を含む)		理科教育Ⅱ、物理、化学、生物、地学、文化財科学から1科目選択	
	音楽教育	日本語 (日本語で解答)	音楽科教育Ⅱ、声楽実技、器楽実技、作曲から1科目選択	
	造形表現(美術・書道)・伝統文化教育	日本語 (日本語で解答)	美術科教育Ⅱ、絵画実技、工芸実技、美術史、絵画記録保存実技、書道実技から1科目選択	
	保健体育	英語 (日本語で解答)	保健体育科教育Ⅱ、体育社会学、体育原理、運動学、学校保健、運動生理学から1科目選択	
	英語教育 (異文化理解を含む)	英語 (日本語及び英語で解答)	英語科教育Ⅱ、英語学、英米文学から1科目選択	
生活科学教育		家庭科教育Ⅱ、食物学、保育学、家庭経営学から1科目選択		

〔学力検査科目表の注意事項〕

1. 「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合、上記試験区分の一部については、令和4年度入試は実施しません。詳細については、別紙「令和4年4月から「新たな大学院教育学研究科」の設置(大学院改組)が認められた場合の入学先等について」を必ず確認してください。
2. 外国語を課す専攻・専修、課さない専攻・専修がありますので注意してください。また、外国語については辞書(書物に限る。電子辞書は不可。)の持ち込みを認めます。
3. 専門科目(実技を含む。)は、自己の研究題目に合致し、入学後に研究指導を希望する教員が専門とする科目を選択し受験してください。(16頁～18頁参照)なお、各教科教育Ⅱは専門的教養に関する試験です。
4. 教科教育専攻理科教育(文化財科学を含む)専修を志望する者で、専門科目の化学を選択し受験する者には、当日、関数電卓を問題用紙配付時に配付し、答案用紙回収時に回収します。

5. 教科教育専攻音楽教育専修を志望する者は下記事項に留意してください。
- ① 専門科目で音楽科教育Ⅱを受験する者は、音楽科教育Ⅱの筆記試験に加え、口述試験のなかで任意の器楽曲又は声楽曲1曲の演奏を必要とします。
 - ② 専門科目の声楽実技、器楽実技、作曲の内容は以下のとおりです。

ア. 声楽実技	任意の日本及び外国の声楽曲各1曲を歌う。
イ. 器楽実技	任意のピアノ曲を1曲を演奏する。
ウ. 作曲	任意の自作品の譜面を出願時に提出する。(自作品の録音があれば、出願時に提出することが望ましい。)当日自作品についての口述試験を行う。
 - ③ 声楽曲を演奏する者は、伴奏者を同伴してください。
 - ④ 演奏はすべて暗譜で行うこととします。
6. 教科教育専攻造形表現(美術・書道)・伝統文化教育専修を志望する者で、専門科目において実技試験を選択する者は、下記事項に留意してください。
- ① 実技試験を受験する際には、次のものを持参してください。

絵画実技	…………… 鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式、パレット、筆、水入れ、雑巾
工芸実技	…………… 鉛筆デッサン用筆記用具
絵画記録保存実技	…… 鉛筆デッサン用筆記用具
書道実技	…………… 太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆及び大筆(半切1首書き程度)、 墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙及び半切、下敷(半切用)
 - ② 口述試験には、次のものを持参のうえ口述試験の際に提出してください。
 - ・ 絵画実技、工芸実技、絵画記録保存実技(模写を含む。)を選択する場合
選択する専門科目に関する作品のうちいずれかの作品(作品の写真可)2点以内
 - ・ 書道実技を選択する場合
毛筆による自作の書道作品(作品の写真不可)2点
なお、作品は3年以内に作成したものとし、サイズは自由とします。

7. その他の留意事項

- (1) 出願手続後は、志望専攻・専修及び受験科目の変更は認めません。
- (2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (3) 試験当日は、「奈良教育大学大学院教育学研究科(修士課程)受験票」を必ず持参してください。
万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。
- (4) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。
- (5) 筆記試験開始後30分を経過して遅刻した者は、それ以降の試験も含めて受験することはできません。また、口述試験については、開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (6) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。
- (7) 連絡事項がある場合は、本学のホームページに掲載します。
- (8) 本要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

令和4年2月17日（木） 午前10時

合格発表日に本学のホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/>)上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送します。ホームページ上の合格速報は情報提供サービスの一環として掲載するものであり、**正式には合格通知書で確認してください。**また、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日 令和4年3月15日（火） 郵送必着

10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円（予定）

授業料 前期分 267,900円（年額535,800円）（予定）

(注)ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料については、令和4年4月1日から令和4年4月30日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、令和3年度入学者の金額であり、令和4年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ. 国費外国人留学生として入学する場合は、入学料及び授業料は納付を必要としません。

11. 受験専門科目名・大学院担当教員対応表

入学の際には、16頁～18頁の対応表に示されている受験(選択)した専門科目に関連する領域を専門とする教員の研究指導を受けることを原則とします。**ただし、「新たな大学院教育学研究科」の設置が認められた場合は、別紙「修士課程担当教員研究分野一覧表」を必ず確認してください。**

Ⅲ. 修士課程・修士課程(外国人留学生特別選抜) 共通事項

1. 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生指導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他法人の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL : <https://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

2. 障害等を有する志願者との事前相談について

障害等を有する志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、必ず出願までに相談してください。

1. 相談の期間

修士課程

[9月募集] 令和3年 7月 9日(金) から令和3年 7月14日(水) まで

[2月募集] 令和3年11月 8日(月) から令和3年11月10日(水) まで

修士課程(外国人留学生特別選抜)

令和3年11月8日(月) から令和3年11月10日(水) まで

2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類(様式任意)を作成し、医師の診断書を添付して提出してください。

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しえる出身大学関係者等との面談等を行います。

- (1) 氏名及び出身大学名
- (2) 障害等の種類、程度
- (3) 志望予定専攻、専修等
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項

(6) 出身大学でとられていた特別措置等の事項

(7) 日常生活の状況

(8) 連絡先の住所、電話番号等

3. 提出先 奈良教育大学入試課（〒630-8528 奈良市高畑町）

3. 過去の入試問題の閲覧について

過去3年間の入学試験問題を入試課窓口で閲覧することができます。

なお、個人への郵送は取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

〈閲覧場所〉 入試課窓口

〈時間〉 平日 9:00～17:00

4. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について

本学大学院入学後に日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する日本人学生・在日外国人学生(留学生は除く。)は、奈良教育大学のホームページにて申請方法を確認してください。

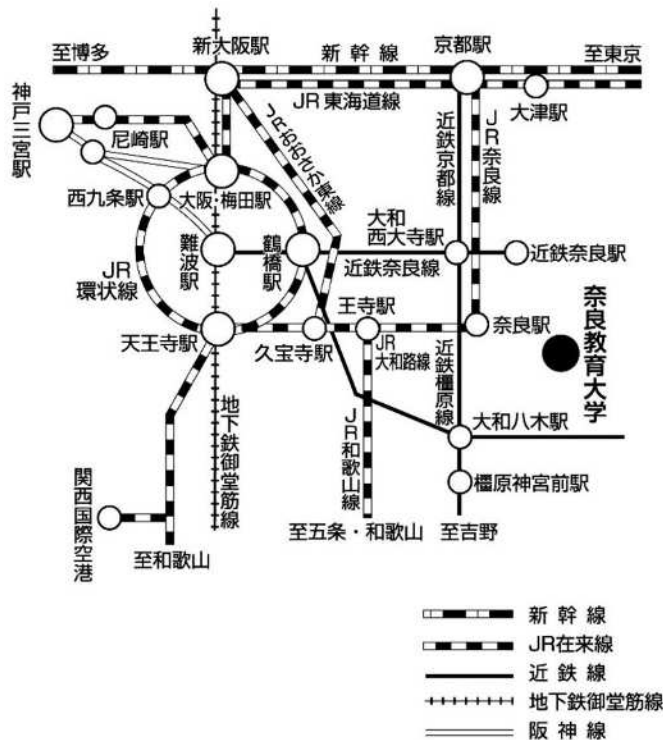
URL：https://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/health/scholarship_system.html

「日本学生支援機構奨学金予約採用（大学院）について」

【注意】申請方法は令和3年9月からホームページに掲載の予定です。

申請受付期間は令和3年12月から令和4年1月中旬の予定です。

試験場への順路



京都駅から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪駅から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪駅から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波駅から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺駅から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約33分＋市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮駅から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126

Fax 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp